

科目名	幼児の環境と人間関係				担当	市東 賢二・多田 幸子		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年前期	実務経験	—	
必修	卒業：必修 幼免：必修				ナンバリング	Y1202	DPとの関連	2
授業概要	<p>幼児を取り巻く人間関係や環境と、幼児の発達の意義や現代的課題を理解する。幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から理解し、幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。同時に幼児期の標識・文字等、情報・施設とのかかわりの発達を理解する。</p>							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児期に育つ人と関わる力の発達について、家族や地域との関係と育ちについて、発達の姿と合わせて説明できる ・幼児期の遊びや生活の中で育つ人と関わる力の発達について、教師との関係、幼児との関係、集団の中での育ちを観点として説明できる ・自立心や協同性、道徳性・規範意識の芽生えや育ちについて、発達の姿と合わせて説明できる ・幼児を取り巻く環境の諸側面(物的環境、人的環境、社会的環境、安全等)と、幼児の発達におけるそれらの重要性を理解し、それらとのかかわり方について、専門的概念(能動性、好奇心、探求心、有能感等)を用いて説明できる ・乳幼児期の認知的発達の特徴と筋道を理解し、乳幼児の物理的、数量・図形とのかかわりの事象や、乳幼児を取り巻く標識・文字等の環境と、それらへの興味・関心、理解の発達とそれらとのかかわり方を説明できる ・乳幼児の生活に関係の深い情報・施設と、それらへの興味・関心、それらとのかかわり方について説明できる ・知識基盤社会及び持続可能な開発のための教育(ESD)などの幼児を取り巻く環境の現代的課題について説明できる 							
授業計画	回	内容						
	1	乳幼児を取り巻く人間関係や環境の現代的特徴とその社会的背景	乳幼児を取り巻く人間関係や環境の現代的特徴とその社会的背景について学ぶ					
	2	人と関わる力の発達①	家族や地域とのかかわりについて学ぶ					
	3	人と関わる力の発達②	遊びや生活のなかでのかかわりについて学ぶ					
	4	乳幼児期の発達における自立や協同の芽生えと育ち	乳幼児期の発達における自立や協同の芽生えと育ちについて学ぶ					
	5	乳幼児期の発達における道徳性・規範意識の芽生えと育ち	乳幼児期の発達における道徳性・規範意識の芽生えと育ちについて学ぶ					
	6	乳幼児を取り巻く環境の諸側面①	物的環境について学ぶ(フィールドワーク、グループワーク)					
	7	乳幼児を取り巻く環境の諸側面②	人的環境について学ぶ					
	8	乳幼児を取り巻く環境の諸側面③	社会的環境と安全等について学ぶ(フィールドワーク、グループワーク)					
	9	乳幼児期の発達の関係論的意味	乳幼児期の発達の関係論的意味について学ぶ					
	10	乳幼児期の認知的発達	乳幼児期の認知的発達について学ぶ					
	11	乳幼児期の思考・科学的概念の発達①	物理的事象への興味・関心について学ぶ					
	12	乳幼児期の思考・科学的概念の発達②	生物・自然への興味・関心について学ぶ					
	13	乳幼児期の発達の社会的側面①	標識や文字等の環境への興味・関心について学ぶ					
	14	乳幼児期の発達の社会的側面②	生活に関連する情報や施設への興味・関心について学ぶ					
	15	乳幼児を取り巻く人間関係と環境の現代的課題	乳幼児を取り巻く人間関係と環境の現代的課題について学ぶ					
評価基準	到達目標の7つの点について理解し、説明できることが「可」の条件である							
評価方法	期末試験 80% その他 20% (授業内で指示する課題の内容を評価)							
フィードバック方法	授業中の課題は、採点后返却し、講評する							
アクティブラーニング	フィールドワーク、グループワーク、プレゼンテーション							
教科書	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針原本』(平成 29 年 6 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)							
参考書	随時、紹介または配布する							
履修条件	本講義を受講するにあたって必要となる基礎知識を有すること							
授業外学習	事前学習：授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもち、読書(教科書関連箇所含む)や友人との討議の機会をつくり思考を深めること 事後学習：授業で扱われた事項に関する学びと自己の課題を考察すること							
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する							